より迅速に、より正確に」をモッ た臨床検査を実施する。 に

代表取締役社長 中央研究所 株式会社 チューケン日本医薬 有限会社 長崎医学中央検査室

本田 徳光氏

取引店/親和銀行 浦上支店

容をお聞かせ下さい。 行っておられますが、具体的な内 床検査」や「環境検査」を 御社は長崎を拠点に、「臨

臨床検査を事業の柱として活動 本医薬中央研究所の2社で 務を担う株式会社チューケン日 「チューケングループ」を形成し、 検査室と、長崎県外の業 有限会社長崎医学中央

(超音波検査)、脳波等の 臨床検査では、心電図、エコー



考え事業を開始しました。 外でも地域社会に貢献したいと 分野にも活用することで、医療以 が主な業務です。チューケング じめ、飲用水やプール等を対象と 重金属類を調べる食品分析をは の報告を行っています。 ループの検査・分析力を環境検査 農薬成分を調べる土壌分析など した水質分析、土壌の油汚染や しています。食品中の残留農薬や またこの他に、環境検査も実施

ンパク、酸素などの各種成分の測血液から、糖やコレステロール、タ(※1)生化学自動分析装置…採取した

Top Interview

チューケングループ



▲チューケングループ統括ビル前(左から本田社長、吉澤頭取)



るに至った経緯を教えて下さい 臨床検査を行う会社を開業す

どでした。私は今までの臨床検査 立し、有限会社長崎医学中央検 とは違う、質の高い充実した検査 液型を間違えることさえあったほ 能、ということはない!と教えら 学び、『unimpossible』=『不可 校で臨床病理学(※2)を教えて頂 通うことにしました。その専門学 査室を設立しました。 を行いたいと考えるようになり、 れました。当時、一般の臨床検査 いた恩師からハイレベルの検査を 師を目指し医療系の専門学校に 1983年(昭和58年)12月に独 私は高校卒業後、臨床検査技 の精度は低く、患者の血

検査も行うようになりました。現 年)8月には「株式会社チュー 長崎県内に研究室を拡大してい 在は、福岡県、大分県、熊本県に ン日本医薬中央研究所」を設立 きました。そして、96年(平成8 内に専念していましたが、次第に し、長崎県外の臨床検査と環境 業以降、しばらくは長崎市 ケ

> ており、地域医療機関を中心と支社や営業所、研究所を開設し 先の臨床検査を担っています。 する3,00 0 先を超える取引

(※2)臨床病理学…疾病の診断、治療、

現在に至るまでには様々なご苦

なっています。 苦労は、今日の仕事の肥や 変でした。しかしながらこの時の 創業に至るまでの期間が一番大 て独立開業に至りましたが、この ら勉強にも励み、10年の年月を経 に加え、検査センターで働きなが 技師として病院や学校での教務 専門学校を卒業後、臨床検査 し と

壁が立ちはだかり、どんなに努力ているときの私の前には、強固な う教訓です。検査技師として働い いつの間にか崩れ去っていく」とい 壁は、真摯に努力を続けていれば 生きて行く中で出現する強固な 多々あります。その一つが、「人 苦労を経験して得た教 訓 が は





検査結果

労があったのではないでしょうか。

▲県内随一の処理能力を誇る生化学自動分析装置

た。しかし今となっては、その壁はしても跳ね返されるばかりでし ことはない」という言葉が、今に ありません。専門学校時代に恩師 なってやっと理解出来ました。 から教えて頂いた「不可能という

ておられますね。 365日体制で臨床検査を行っ 御社グル プでは24 時間

なく検査を実施しています 名以上抱えており、交代制で休み 査技師をグループ全体で1 方針の一つです。臨床検査では検 24時間365日の検査体制は、 -ケングルー -プの重要な経営 0 0

グループの強みになっています。医 ところは少なく、これがチューケン ンタ それゆえに、24時間365日の集荷・ 言がありますが、臨床検査の格言 療には「医は仁術(※3)」という格 が、毎日24時間いつでも医療機関 を言うならば「迅速正確」です を訪問し、検査を受け付けている 24時間検査を行っている検査セ ーは東京・福岡にもあります

> 検査センター、をモット にお応えする。TIME&TIME 療を受けたい」という患者のニーズ た形で「曜日、時間を問わず早く治 検査体制を構築し、各地域に密着 としていま

効率化が実現できます。 排除できるため、業務の省力化・ 手間が省けて転記ミスのリスクも することで、検査依頼書の記入の 査オーダー連携システム、を利用れている医療機関であれば、、検 ます。更に、電子カルテを導入さ データをいつでも閲覧可能となり ち早く確認出来るとともに、過去 すれば、医療機関は検査結果をい WEB検査結果システム、を利用 ており、オリジナルの、クラウド型 そのための支援システムも整え

をサポ 高精度な検査をご提供し、地域医 3つを経営方針に掲げています。 全うさせる経営を目指す」という 善に努める」「最新の医療サービス な品質マネジメントシステムの改 の他に、「日々の精度管理と継続的 また24時間365日検査体制 ・トする」「職員の人生を



▲血液遠心分離機



療に貢献することはもちろんです

見出来るような検査技術を確立亡率が高いすい臓がんを早期発

うに努力していく所存です。

きる社会づくりの一助となれるよ し、市民の皆様が安心して生活で

ること、そして将来展望について最後に、現在注力しておられ 献することこそチューケングループ 込み、地域医療の発展と未来に貢 常に地域密着の精神で全力を注ぎ お聞かせください。 (※3)医は仁術…「医は、人命を救う や高い技術が必要です。そのため 考えています。良い臨床検査サー 供するための研究に尽力したいと の使命であると確信しています。 として、会社経営を行うことです 今まで以上に厳しく自らを律し ビスには、治療現場に即した体制 となった新しい医療サ この課題に取り組んでい きま

が、職員にも充実した人生を送っ てもらいたいと考えています。 今後は、検査・分析と治療が一体 注力していることは、社会の一員 -ビスを提



が可能となってきていますが、死ば、胃がんは早期発見により治癒 上にも注力していきます。例え また新たな臨床検査技術の ▲本田社長

▲スーツ着用者の左から3番目より、新垣副社長、本田社長、吉澤頭取、帯田支店長(親和銀行)



取締役頭取 吉澤 俊介

24時間365日、迅速・正確な臨床検査を行っている貴社の存在は、私たちが 生活していく上で大きな安心感を与えてくれます。

病気の早期発見は、重症化を防ぐとともに、増え続けるわが国の医療費の抑 制にも大変効果があることだと思います。

これからも、より患者に近い臨床・環境検査機関として、地域医療の発展に寄 与していかれることを期待致します。

FFG MONTHLY SURVEY Vol.70 22 23 FFG MONTHLY SURVEY Vol.70

▲農薬や化学物質の含有量を測定する装置